



潟上市章

かたがみ  
Katagami

# 市議会だより

第34号



燃ゆるナナカマド (天王グリーンランド)

## 9月定例会

H25(2013)11.01

平成25年(2013年)  
11月1日発行

- |                                       |                     |
|---------------------------------------|---------------------|
| ■ 9月定例会 …………… 2～4                     | ■ 委員会報告 …………… 12～14 |
| ■ 臨時議会 …………… 5                        | ■ 行政視察研修報告 …………… 15 |
| ■ 一般質問 …………… 6～11<br>8氏が市の方針をただす      | ■ 議会報告会 …………… 16～17 |
| ■ 議会改革推進会議・政治倫理審査会・<br>政策協議会 …………… 11 | ■ 賛否一覧 …………… 18     |



# 2013 9月定例会

9月10日～27日

## 平成24年度 各会計

# 決算を認定

### 平成25年度 各会計補正予算

● 9月定例会に計上された補正予算の主なもの

(単位：千円)

項 目	補 正 額
昭和庁舎設備工事	2,369
小規模介護施設等緊急整備費補助金 及び介護施設開設準備経費補助金	135,500
子ども・子育て会議、 子ども・子育て事業計画	2,638
追分西西集会所（仮称）建築費	45,677
ストックヤード整備工事等、 びん類の分別作業	37,917
道路改良工事・調査設計等委託料	13,529
住宅リフォーム補助金	11,000
児童生徒派遣費補助金	1,500
前年度に借り入れた市債の予算計上額と 実績額の差	△ 20,195
「八郎潟ハイツ」施設管理費	22,728
「天王温泉くらら」地下水導水管の 漏水箇所の復旧工事	3,843
農道仁山・羽白目線災害復旧費	1,900
羽白目橋災害復旧費	36,145
台風18号災害復旧費	7,440

● 補正後の各会計の予算額

(単位：千円)

会 計 名	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計	328,062	14,958,753
国民健康保険事業特別会計	4,528	3,830,474
後期高齢者医療特別会計	1,345	273,008
介護保険事業特別会計	54,387	3,198,699
下水道事業特別会計	2,993	1,208,524
水道事業会計（収益的支出）	2,475	588,917

### 平成24年度 一般会計 決算

歳入合計 ..... 150億6,129万7,988円  
 歳出合計 ..... 145億 803万3,331円  
 歳入歳出差引額 ..... 5億5,326万4,657円  
 実質収支 ..... 5億 46万4,007円

※平成25年度に繰り越した事業に使う財源を差し引いた額

● 歳入

歳入総額は15,061,298千円ですが、その主なものです。

(単位：千円)

区 分	平成24年度	平成23年度	増減額
市 税	2,445,430	2,443,675	1,755
地方交付税	6,854,692	6,654,377	200,315
国庫支出金	1,758,142	1,994,087	△ 235,945
県 支 出 金	910,791	767,100	143,691
繰 越 金	668,403	851,572	△ 183,169
市 債	1,147,700	1,551,700	△ 404,000
歳入合計	15,061,298	15,379,944	△ 318,646

● 歳出

歳出総額は14,508,033千円ですが、その主なものです。

(単位：千円)

区 分	平成24年度	平成23年度	増減額
人 件 費	2,894,118	2,908,331	△ 14,213
扶 助 費	2,380,435	2,364,888	15,547
公 債 費	1,631,224	1,753,633	△ 122,409
投資的経費	2,179,640	2,183,717	△ 4,077
歳出合計	14,508,033	14,711,541	△ 203,508

### 平成24年度 特別会計 決算

歳入合計 ..... 88億9,130万 364円  
 歳出合計 ..... 85億3,017万6,480円  
 歳入歳出差引額 ..... 3億6,112万3,884円

(単位：円)

会 計 名	歳 入	歳 出	差 引 額
国民健康保険事業	4,047,997,757	3,834,937,238	213,060,519
後期高齢者医療	266,160,101	264,813,659	1,346,442
介護保険事業	3,100,241,861	3,028,776,669	71,465,192
農業集落排水事業	171,941,022	158,962,681	12,978,341
下水道事業	1,291,464,152	1,231,688,836	59,775,316
合併処理浄化槽事業	6,657,089	6,030,519	626,570
豊川財産区	2,832,068	2,225,135	606,933
下虻川財産区	1,843,474	1,296,203	547,271
和田妹川財産区	1,095,778	679,080	416,698
飯塚区財産区	1,067,062	766,460	300,602
計	8,891,300,364	8,530,176,480	361,123,884

### 水道事業会計決算

収益的収入… 6億4,297万1,670円  
 収益的支出… 5億 771万 166円  
 資本的収入… 5億4,529万5,750円  
 資本的支出… 10億3,058万5,892円

### ● 財政指数の推移

普通会計における主な財政指数の推移は、次の表のとおりです。

財政指数	年度	平成23年度	平成24年度	比較
① 実質収支比率 (%)		6.3	5.2	△ 1.1
② 財政力指数		0.33	0.32	△ 0.01
③ 経常収支比率 (%)		89.1	89.6	0.5
④ 実質公債費比率 (%)		12.8	11.1	△ 1.7

# 潟上市議会基本条例・政治倫理条例を制定！

議会基本条例策定特別委員会が策定を進めていた、議会基本条例・政治倫理条例の最終案が確定し、9月議会に上程され賛成多数で可決されました。

潟上市議会基本条例は、市と議会の二元代表制を核とした議会の役割を明確にし、「積極的な情報公開」「市民参加」を柱とした議会が市民の負託に応える責務を定めています。

政治倫理条例は、議員の政治倫理に関する規律の基本となる事項を定めたもので政治倫理の確立を図るものです。

本会議では、議会基本条例（案）に対し2名の議員より第4条（危機管理）、第7条、第12条（委員会の運営）、附則について修正動議が提出されましたが、原案通り賛成多数で可決されました。

また政治倫理条例（案）に対し2名の議員より第3条、第13条、附則について修正動議が提出されましたが、原案通り賛成多数で可決されました。条例は10月1日から施行されています。

## ● 潟上市議会基本条例（案）

発議第1号  
提出者 藤原 幸作  
賛成者 堀井 克見・中川 光博  
大谷 貞廣・小林 悟  
岡田 曙・佐々木嘉一

### 【主な内容】

- ・議員間の積極的な自由討議の活用（第2条、第3条、第10条）
- ・政策協議会の設置（第11条）
- ・議会改革推進会議の設置（第21条）

◆ 修正動議  
提出者 藤原 典男・藤原 幸雄  
賛成者 西村 武・児玉 春雄

【主な内容】  
（市長等との関係）  
第7条 市長及び教育長は、議員または委員からの質問に対し質問趣旨の確認等のための発言をすることができません。

傍線部分をために反問権を行使することができません。に修正するものです。

## ● 潟上市議会議員政治倫理条例（案）

発議第2号  
提出者 藤原 幸作  
賛成者 堀井 克見・中川 光博  
大谷 貞廣・小林 悟  
岡田 曙・佐々木嘉一

◆ 修正動議  
提出者 藤原 典男・藤原 幸雄  
賛成者 西村 武・児玉 春雄

【主な内容】  
政治倫理基準の遵守（第3条）  
審査請求権（第8条）  
市との請負契約等に対する遵守事項等（第13条）

## ◆ 修正動議

提出者 藤原 典男・藤原 幸雄  
賛成者 西村 武・児玉 春雄

【主な内容】  
第3条 議員は（7）市から補助金等の交付を受けて運営している団体の代表者に就任しないこと。  
傍線部分を全文削除するという修正です。

## ◆ 修正動議

提出者 藤原 典男・藤原 幸雄  
賛成者 西村 武・児玉 春雄

【主な内容】  
第3条 議員は（7）市から補助金等の交付を受けて運営している団体の代表者に就任しないこと。  
傍線部分を全文削除するという修正です。

## ◆ 修正動議

提出者 藤原 典男・藤原 幸雄  
賛成者 西村 武・児玉 春雄

【主な内容】  
第3条 議員は（7）市から補助金等の交付を受けて運営している団体の代表者に就任しないこと。  
傍線部分を全文削除するという修正です。

# 9月定例会に提出された議案等

## ◆ 報告事項

- ・平成24年度健全化判断比率
- ・平成24年度公営企業資金不足比率
- ・平成24年度水道事業会計継続費精算報告書

## ◆ 契約締結議案

全案可決

- ◆ 工事請負契約  
潟上市新庁舎建設工事  
契約者 ㈱沢木組・中田建設㈱・むつみ建設㈱特定建設工事共同企業体
- 契約金額 39億1,335万円
- 落札比率 96・37%
- 工期 平成27年3月20日
- ◆ 潟上市多目的交流施設（豊川コミュニティセンター）建築工事  
契約者 瀨下建設工業㈱
- 契約金額 1億9,425万円
- 落札比率 98・47%
- 工期 平成26年3月20日

## ◆ 条例の制定・改正

全案可決

- ・子ども・子育て会議条例
- ・後期高齢者医療に関する条例及び国民健康保険高額療養費及び出産費貸付基金条例の一部を改正する条例
- ・市税条例の一部を改正する条例
- ・国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ・集会所設置条例の一部を改正する条例

## ◆ 指定管理者の指定

原案可決

- ・追分自治会館の指定管理者の指定

## ◆ 未処分利益剰余金の処分

原案可決

- ・平成24年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分

## ◆ 補正予算

全案可決

- ・一般会計補正予算（第5号）
- ・国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

## ◆ 決算の認定

認定

- ・一般会計
- ・国民健康保険事業特別会計
- ・後期高齢者医療特別会計
- ・介護保険事業特別会計
- ・農業集落排水事業特別会計
- ・下水道事業特別会計
- ・合併処理浄化槽事業特別会計
- ・豊川財産区特別会計
- ・下虻川財産区特別会計
- ・和田妹川財産区特別会計
- ・飯塚財産区特別会計
- ・水道事業会計

## ◆ 人事案件

新任

- ・人権擁護委員 川上 孝氏

## ◆ 陳情

採択

- ・「協同労働の協同組合法（仮称）の速やかな制定を求める意見書」に関する陳情書
- ・経済・雇用対策強化のための地方財政の充実を求める意見書採択に関する陳情書
- ・要望書（建設費の一部助成について）
- ・「中野集会所（仮称）」建設についての陳情書
- ・羽立神明生活総合センターの移転新築に関する陳情書

## ◆ 陳情

不採択

- ・「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情書について

## ◆ 陳情

継続審査

- ・違法な臓器生体移植を禁ずることを求める陳情書（社会厚生常任委員会）

# ①新庁舎建設予算

# ②市役所の位置を定める条例

## 全会一致で可決される

第2回臨時議会は8月5日に開催され、専決処分の承認、一般会計補正予算、農業集落排水事業特別会計補正予算、水道事業会計補正予算、潟上市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例を可決しました。

### 議案の内容

●平成25年度一般会計補正予算(第3号) 専決処分災害復旧費990万円の追加は7月12日の豪雨で被災した羽白目橋の本復旧に係る設計委託料です。  
●平成25年度一般会計補正予算(第4号) 継続費補正は総務管理費の市役所庁舎整備事業で平成25年度から平成27年度までの3年間、総額51億4,322万3千円の追加です。新庁舎建設事業費40億円が実施設計時約11億円の増額になったものです。主な内容は構造が4階建となり延べ床面積が約3千㎡の増、又、労務費・資材費の高騰によるものです。又、造成工事費も7千万円の増額となりました。

補正予算3億1,791万7千円の主なものは市役所庁舎建設工事費1億65万1千円、多目的交流施設整備事業費2億354万2千円、消防費152万4千円、災害復旧費1,220万円です。

### ◆庁舎建設の起債償還計画

◎起債は合併特例債を活用46億1,410万円。25年度は実施設計、確認申請手数料等庁舎建設分を加えた1億7,660万円、26年度は44億3,750万円です。

◎償還は条件として元金・利子の交付税算入割合を70%、期間を20年、利率は1%で設定しています。

◎基金活用は市役所庁舎建設基金残高が10億6,425万5千円あり一般財源分は5億7,097万円です。残額は4億3,545万5千円です。元金償還の始まる29年度が3億186万円で最高額となるが市の正味の持出しは6,494万8千円です。償還金が市の歳出額に占める割合は、0.4%となり、負担は小さく健全財政は確保されます。

### ◆質疑応答

**問** 庁舎棟建設工事費10億円の増及び吹き抜けの一部取り止めの理由は。

**答** 実施設計の中で労務費、資材費、燃料費、機械損料、雑材料等の高騰によるもので国交省の資料、単価を参考に設計業者と協議の上でこの金額を弾いたものです。吹き抜けは構造設計や法規制への適合をおこなうため床仕上げの方が経費、維持管理費、空調関係の管理費が削減されそのため延べ建築面積が増となりました。

**問** 入札方法について。

**答** 現在は白紙です。議会に示す必要はなく執行権です。

**問** 庁舎の周辺道路の改良、及び新設道路の予算は。又市の将来人口は27年後には2万3,548人、10年後には3万人を割る予想です。職員、議員定数減の4階建、正面玄関を北向きにした理由は。

**答** グリーンランドから農場踏切、構内道路2本は12m道路として整備、県道秋田天王線に抜ける新設の道路は都市計画道路として位置づけ9月定例会に詳細設計を計上します。4階建は大

学の3人の先生の指摘がありましたので3階建に戻す考えはありません。庁舎の方向は東西に長い構成とし海側からの津波受圧面積を少なくするという目的です。

**問** 庁舎建設地の地盤の高さと造成費の増額の理由は。

**答** 地盤を8.4mに均すため2mの盛土をします。又増額は資材、労務費の高騰、擁壁の設置、雨水排水構造物の設置のためです。

**問** 庁舎建設総事業費は52億円を超えている。市民に対し丁寧の説明、理解を求めため広報特別号の発行は。

**答** 一番市民の心配なのは後年度の市民負担の影響ですので特集号の発行を約束します。

●潟上市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例について

改正内容は第1条の見出し及び条名を削り、同条中「潟上市天王字上江川47番地100」を「潟上市天王字榨台226番地1」に改めるものです。この条例の施行日は工事の進捗等により規則で定めることになっています。



# 介護老人福祉施設の今後の見通しについて



藤原 典男  
議員

**質問** 老人介護施設での入居状況と待機者、低所得者対策、経済的理由で取り残されている方はいないのかについて伺う。

**答弁** (福祉保健部長) 本市においては特別養護老人ホーム施設で定員237人に対し入所者は235人、介護老人保健施設が2施設で200人に対し188人、グループホームは90人に対し88人が利用しております。入所待機者は特別養護老人ホーム施設が72人、介護老人施設が13人、グループホーム

は希望者はおりません。入所待機者については潟上市介護保険事業5期計画に基づき地域密着型老人福祉施設29床の新設と特別養護老人ホーム30床の増床の施設整備を進めており概ね待機者の解消は図られます。低所得者の方の利用は居住費、食事が所得区分により負担限度額が定められており、負担課では総合相談業務も行っており、該当するケースはないものと認識しております。

## 6次産業化の取り組みについて

**質問** 本市での農林水産物の生産(第1次産業)加工(第2次産業)販売(第3次産業)を一体化した

雇用創出と所得の向上への取り組みについてどんな可能性があるのか伺う。

**答弁** (市長) 「食菜館くらら」や「アグリプラザ昭和」を核とした農産物の6次産業化に向けた取り組み支援や地域の特色を生かした農産物の生産振興、特産品や新サービスの開発、販路拡大の支援など関係機関と十分に研究・検討を進めているところです。今年度、産業課内に担当を任命し認定農業者や若い農業後継者を対象にして現地研修、講演会を開催しています。商工会・各JAとも協議を進めており今後はプロジェクトチーム等を設置するなど6次産業化にむけた体制強化を図っていききたいと考えております。

## 福祉灯油について

**質問** 灯油が値上がりしており、計は厳しい。国や県に働きかけ、以前行った福祉灯油を実現できないものか。

**答弁** (福祉保健部長) 平成19年度と20年度に県補助金や国の特別交付税処置を受け高齢者世帯や重度障害者世帯、一人親世帯、生活保護世帯を対象に実施しております。実施する場合は財源に対する国、県の支援について働きかけは必要との考えから市長会に要望しております。



灯油が値上がり

# 高齢者の社会的孤立と、認知症の対応について



西村 武  
議員

**質問** 高齢者・孤立化の対応でどのような方策をとっているのか。

**答弁** (福祉保健部長) 少子高齢化や核家族化の急速な進行で高齢者世帯数は現在476世帯で、年々

増加する傾向にあり、対応策として定期的に安全パトロールの実施や、民間企業や郵便局との見守り活動の協定などを締結して対応しています。

**質問** 認知症の方々に対し正しく理解を促すための養成講座開催が必要と思うが。

**答弁** (福祉保健部長) 現在介護認定申請者数は399人でうち23・4%約99人が認知症により介護認

定を受けており、疾病要因でも最も高い割合で、重点施策として支援策の充実のため養成講座を開催し、担い手育成に取り組んでいます。



敬老式

ます。

**質問** 地域全体で支え合う対応と方策は。

**答弁** (福祉保健部長) 認知症の高齢者が地域で自立した生活を送り、家族の負担軽減を図るためにも早期発見と適切な介護サービスを提供し、認知症高齢者本人が、自宅や地域で生活を送ることができる支援体制の充実に努めてまいります。

## シニア世代に対し、イベント的サービスの対応について

**質問** 全国各地で敬老の日を中心に、様々な無料のイベントを予定しているが、本市も年に一度位イベント的サービスがあってもよいと思うが。例えば75歳以上の方々に、温泉の割引や市が可能と思

われる施設の利用等の考えは。

**答弁** (副市長) 今年敬老式対象者75歳以上が5070人で、祝金の対象者573人、記念品の対象者361人となっており、温泉割引などについては、大変貴重な提言と受け止めております。天王温泉からは指定管理者で運営していることや、他の施設等との兼合いなども含め鋭意前向きに協議検討します。

**答弁** (市長) 来年は潟上市誕生か

## 近代行政と予算について

ら10年目で節目の年であり記念事業の範囲内でも考慮すべきものと考えています。

**質問** 行政の近代化や予算の近代化は市・町・村合併以来一部には自治の近代化ができなければ合併の意義が失われるとも言われております。行政の運営と予算の合

理化、効率化の対応とその考え方は。

**答弁** (市長) 市では簡素、効率的な行政運営を目指し、平成17年度から行政改革大綱を策定し、組織機構の簡素効率化や職員定数の適正管理などに努めてきているところであり、現在取り組んでいる行政評価などまさに合理化と効率化のためのツールであり、今後も適切な運用を図ってまいります。

# 地域防災計画改正について



藤原 幸作  
議員

**質問** 津波避難タワー視察研修、秋田県地震被害想定調査結果に基づき基本的な考えは。

**答弁** (市長) 津波避難タワー研修に参加した地区の代表者から、雪に対する対処や高齢者や車椅子の利用者などの災害時要援護者に対する対応も必要になるとの意見も出されております。

津波避難タワーの建設費は、避難者の収容人数や設備内容等で大きく異なりますが、視察した各市の施設では約3千万円から1億円との説明がありました。財源につ

## 天王温泉くらしについて

**質問** 温泉を利用する市民からは今後どのようなのかと関心が高い。温泉評価、要因と対応は。

ては、防災、減災のための地方単独事業を対象とした「緊急防災・減災事業債」として100%充当、交付税算入率70%となる事業や70%充当、交付税算入率30%となる「防災対策事業債」を使用できるとのことです。「潟上市地域防災計画」につきましては、国及び県との整合性を図る必要を考慮しながら、平成26年度末の完成を目指して「潟上市防災会議」において作業を進める予定になっております。



天王温泉くらら

ポンから平成24年度末までの来場者は411万人、年平均27万人、市民の保養施設としての役割は大きいと考えております。

源泉井戸の調査業務の中間報告では、地下750mから温泉を汲み上げていたものが、480m付近で土砂が詰まっている状況にあり、源泉井戸の復旧は難しいという報告を受けております。

## 大沢林道の舗装について

**質問** 昭和豊川地区ほ場整備事業区間の大沢林道を舗装することによって災害防止と農業基盤の強化となる。対応はどのように。

**答弁** (総務部長) 従来の林道については、大雨の際にはご指摘のとおり碎石、土砂等が流れ、農地への流入や道路法面の崩壊がありました。今回の移設によりまして状況が変わりますので、今後の状況を見極めながら、舗装が必要と判断した場合は補助事業、関係機関と協議を重ねながら検討します。



# 人口減少の対応について



大谷 貞廣 議員

## 本市の将来展望と秋田型地域支援システムへの取り組みについて

**質問** 市の人口は、総人口と共に一世帯当りの人数も減少傾向にあり、高齢者等の一人暮らし世帯、夫婦のみの世帯が多くなっている。人口減は地域の活力衰退や経済活動の減少、住民サービス水準維持が課題となっており、地域機能低下を防ぐには行政、住民、企業、各団体の協働が欠かせない方

策であり、県総合政策審議部会での人口減少社会を見据えた対策の方向性を示した。その見解を伺う。  
**答弁** (市長) 人口増の潟上市であったが平成22年国勢調査で前回調査と比較し3・8%減少、背景は、自然減はさることながら地域を取り巻く環境の厳しさが出た結果でもあります。  
日本は人口減少時代に突入、自治体だけの問題ではない事実、今年3月「国立社会保障・人口問題研究所」が発表した将来人口の推計は、ショッキングなものであります。人口減少は、地域活力の低下、自治体の税収減に直結、行政サービスに充てられる財源やマンパワーが減ったとしても、住みやすい地域づくりを進めるとい自治体の果たす役割に変わりはありません。事業の前倒重視から真

に必要な事業を見極める力、判断力が、今後我々に求められていきます。可能な限り人口減少を食い止めるための雇用、福祉、子育て、教育、産業など様々なジャンルによる総合的な対策に引き続き取り組みつつ、人口減に対応した現実的な手立てを講じます。地域活力の低下を防ぐには、市民等と協働が欠かせません。今年1月に施行「潟上市自治基本条例」は「市民参画」と「協働」の宣言であり、条例をもとに、今後は人口減少を直視しながら行政運営を進めます。「秋田型地域支援システム」の対応と取り組みについては、現在、県では高齢者等が安全、安心に暮らしていくための新たな支援の方向性を検討しており、本市では、自治会や民生委員、市社会福祉協議会も見守りネットワークに

よる高齢者世帯の安否確認に加え、新たな秋田中央郵便局と潟上市の郵便局と協定を交わし、郵便配達員による見守り活動が行われています。高齢者等の生活支援は、今後も関係機関の協力を得て、見守り活動やボランティアによる除排雪など秋田型地域支援システムと連携させながら支援活動を展開していきます。



地区運動会の様子



岡田 曙 議員

**質問** 県と市町村が協働作業で双方の主体性、専門性を生かしながら地域づくりに資する重点的な取り組み状況については。  
**答弁** (市長) 地域資源を有効に活

## 第2次健康かたがみ21計画について

**質問** 医学の進歩、生活環境の改善、急速な少子高齢化、しかし介護を要する人々が増加し社会問題になっております。保健事業の実績を評価し分析をして課題や目標など計画されている中、「健康かたがみ21」の計画と策定の位置づけについては。

**質問** 特定健診率向上についての対策は。  
**答弁** (福祉保健部長) 医師の方にも協力依頼をし、関係する機関、団体等々と連携を図りながら向上に向けて進めてまいります。  
**質問** 健診項目については。

と学校現場で充実させることを求められております。児童生徒の食育指導については。  
**答弁** (教育長) 授業の中で食育指導を実施しております。「スーパースクール」食育の教科書については討議中のもので、動向を把握しながら対応してまいります。  
**質問** 給食現場での食物アレルギーへの対応については。  
**答弁** (教育長) 食物アレルギーを

# 秋田県市町村 未来づくり協働プログラムについて

用しながら地域の個性を磨き上げるプロジェクトを市が提案し、県と協働作業で精査し事業の効果高めるため検討しているところ。  
**質問** プロジェクトの対象分野は地域性、獨創性、実現性など、どの点に力を入れて県との整合性を考えているのか。  
**答弁** (市長) 当然、この全てが審査基準となるもので、プロジェクトの内容を県との整合性も求められていることから慎重に検討しているところ。



検診車

**質問** (福祉保健部長) 明るく健康やかに暮らせる生涯健康長寿社会の実現などを基本目標とし第2期計画は。  
**質問** (福祉保健部長) 特定健診は生活習慣病の発症や重症化を予防するため、健診後、保健指導が必要な方には特定保健指導を行い、改善に向けて支援を行っております。  
**質問** 食に関する正しい知識と判断力を身につけることが第2次食育推進基本計画。周知から実践へ

持つ児童生徒が安全、安心な学校生活を送られるよう「食物アレルギーマニユアル」を策定し調理員の配置を行っています。  
**質問** アナフィラキシー発症時の対応とエピペンの使用と対応については。  
**答弁** (教育長) 学校におけるエピペン使用の指針に基づき講習を実施しております。緊急時には「マニユアル」に基づき症状に応じた万全な体制を期しているところ。

# 天王駅のトイレ改修について



児玉 春雄 議員

## JR天王駅トイレの水洗化について

**質問** 天王駅は天王本郷地区の「玄関口」として、地域交流や観光振興等に多大な役割を果たしている。至っているが、昨今の駅周辺の環境は、著しく老朽化が進行している。  
特に天王駅に付帯したトイレは木造づくりの簡易なもので、男女

トイレは木枠でくくられ、水洗化もなっていないことから夏場は異臭をはなし、非常に使い勝手の悪い劣悪な環境となっている。  
市当局においては、今後の対応をどのように進めていく考えなのか、トイレの水洗化も含めて、市長の所見を伺う。  
**答弁** (副市長) ご指摘の天王駅トイレは昭和31年、旧国鉄時代に整備された男女兼用の汲取り式トイレ(小便器1、大便器1)で、市としても、老朽化が進み、その周辺環境も劣ってきていることからトイレ改修が必要であると認識しております。  
JR秋田支社に確認したところ、無人駅のトイレについては「廃止していく」という会社の方針のた



天王駅トイレ

め、現時点では改修する計画はないとのことでしたが、市にはトイレ整備の必要な無人駅が天王駅と上二田駅の2つあることからJRと協議の上で駅敷地内に公衆用トイレとして各自自治体が整備するのであれば、新設が可能である旨の回答をいただいております。  
早期に整備したい旨を説明した結果、本市の意向をJR側からご  
**質問** 天王本郷地域住民は、一日も早く新しいトイレを利用したいのが願いです。  
26年度予算での設置は。  
**答弁** (市長) 副市長の答弁は、26年度中ということですが、JRとの協議次第では、もっと早くなる可能性もありますので、是非ともJRと協議を進めてまいります。

## 26年度の早い時期の設置を



# 「市民参画によるまちづくり」の実現に向け、既存条例の改正を



伊藤 栄悦  
議員

## 自治基本条例と既存条例との整合性は

**質問** 平成24年3月議会での一般質問で「自治基本条例が制定される」と、この条例の最高規範性の趣旨を尊重し、現条例との整合性を図る。また、「既存条例の見直しや新たな制度設計を約半年かけて準備する」との答弁があった。自治基本条例の目的を具現化するための中・長期計画と、最高規範性を持つ自治基本条例と既存市条例との整合性を図る具体的な内容は、

**答弁** (総務部長) 市民がまちづくりの担い手として、できること

にできる範囲で参画し、市の機関と協力してまちづくりを推進していくということ、条例という形で法的根拠を持たせた理念的性格の強いものが「自治基本条例」です。この条例の施行までに既存条例との整合性も見直したが、自治基本条例の趣旨に反し、即時に条例改正が必要となるものはありませんでした。

成し、又は取得した文書、図画及び写真で、決裁又は供覧を終了し、実施機関が保有しているものをいう」とあり、政策形成過程情報が不開示となっている。政策決定後、不開示となる「決裁又は供覧を終了し」を削除し、整合させるため改正する必要があると考えるが。

**答弁** (総務部長) 自治基本条例は理念的性格の強い条例で、市政運営を行う上での個別条例等の解釈や運用指針となる方向性を示したものです。自治基本条例は最高規範的な性格を持つものであり、各各種条例との整合性を図らなければならないということではありませんが、今後、他地方公共団体、憲法、条例等も参考にしながら調整していききたい。

## 市情報公開条例の改正を行う

**質問** 市情報公開条例では第2条をはじめ、第6条の非開示情報の



潟上市「総合発展計画」

除外規定に公務員情報の追加、時代の変化に対応し、第5条の情報請求権者の改正等々、自治基本条例と他市条例との整合性を図るため、改正を要する条項があると考えられる。「市民参画によるまちづくり」の実現化に向け、早急に改正すべきと考えるが。

**答弁** (市長) 伊藤議員の改正試案や最高規範性を備えた自治基本条例と情報公開条例との整合性がないという指摘等もありました。大変重要な条例ですので、この後、精査・検討し改正してまいります。

# がん教育について



菅原理恵子  
議員

## 「生きるの教室」開催について



「生きるの教室」

**質問** 文部科学省は、平成26年度全国の学校でどの程度ががん教育が

行われているかを調査。平成28年度までの3年間で先進的な教育を行うこととしています。がん予防と治療の啓発で、子供たちに生きることに意義を深めることを目的としている「生きるの教室」を各校で開催されています。

**答弁** (教育長) 子供たちが命の大切さを学ぶことは、非常に重要

盛り込まれた「がん教育」をどのように進めるか。

**答弁** (教育長) 平成24年に厚労省が策定した「がん対策推進基本計画」において、子供たちが健康と命の大切さを学び、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識を持つよう教育することを旨として昨年度実施した「いのち

## 「24時間対応サービス」について

の具体的な内容が提示された段階で、市の第6期介護保険事業計画策定委員会においてNPO法人や地域ボランティアの活用について協議検討します。

## 「がん教育」の施策は

## 「地域包括ケアシステム」の整備について

**質問** がん対策「新基本計画」に

な取り組み。昨年度天王南中学校区をモデル校として「いのちの教育推進事業」に取り組み、天王南中、出戸小、追分小と連携し、命の大切さを学ぶ道徳教育を行いました。その成果をもとに引き続き「いのちの教育」を含む道徳の充実を推進、各小中学校に今後とも確実に指導してまいります。

ちの教育あったかエリア事業」をベースとした命の教育の充実に努めてまいります。

**質問** 社会保障へ国民会議の報告書より、要支援認定者のサービス利用は市町村事業に移行されNPO法人地域のボランティアに委ねられるが準備策は。

**質問** 24時間定期巡回、随時対応サービスを県下先駆け来年度導入が決定。バックアップ策は。

**答弁** (福祉保健部長) 地域密着型特別養護老人ホームと同時期に公募、サービス提供開始により、事業者の収支リスク軽減に配慮した運営基準に基づき、円滑な事業開始に向けて指導、支援に努めてまいります。

# 議会改革推進会議 政治倫理審査会 政策協議会

潟上市議会基本条例および潟上市議会議員政治倫理条例が10月1日から施行されました。

10月11日に議会全員協議会が開催され、条例に規定されている議会改革推進会議および政治倫理審査会の委員各5人を選任し、あわせて正副委員長の互選が行われました。委員の任期は、平成26年2月21日までとなっています。

議会改革推進会議は、議会基本条例の運用・検証・見直し・啓発や議会改革の推進について協議するものです。

政治倫理審査会は、市民または議員から審査請求があった場合に、その適否および政治倫理基準等違反の行為の存否について審査するものです。

各委員の名簿は次のとおりです。

## ◆潟上市議会改革推進会議 (会派から選出された議員で組織) 5人

職名	議員名	備考(会派名)
委員長	藤原 幸作	政友平成会
副委員長	岡田 曙	政和会
委員	児玉 春雄	政友平成会
委員	戸田 俊樹	潟上21振興クラブ
委員	佐々木 嘉一	潟上21改革クラブ

## ◆潟上市議会議員政治倫理審査会 (議長が指名する議員で組織) 5人

職名	議員名	備考(会派名)
委員長	菅原理恵子	1人会派代表
副委員長	鈴木 斌次郎	潟上21改革クラブ
委員	中川 光博	潟上21振興クラブ
委員	大谷 貞廣	政友平成会
委員	堀井 克見	政和会

## ◆潟上市議会政策協議会

市政に関する重要な施策・課題について、市民の視点に立った政策立案や政策提言に関する調査・検討、議員間の活発な自由討議により、その結果を政策に反映させるため、全議員で組織し、協議するものです。



# 総務文教

市はどう答えたか

- 委員長 藤原 幸雄
- 副委員長 児玉 春雄
- 委員 藤原 幸作
- 委員 菅原理恵子
- 委員 戸田 俊樹
- 委員 堀井 克見
- 委員 佐々木嘉一

## ●子ども・子育て会議 条例

**問** この会議は子ども・子育て支援に関して審議する場であるが今後の市の方向性を示して欲しい。

**答** 次世代育成支援行動計画で定めている幼児教育や保育・児童クラブ・子育て支援センター等の子育てに関する施策と子ども・子育て新制度により強く推進される幼保一体化を併せ、市の財政事情を考慮しながら検討対応します。

## ●市税条例の一部を改正する条例

**問** 公社債の譲渡所得に3%課税されるがその根拠は。

**答** 分離課税で所得税15%、県民税2%、市民税が3%の税率です。

## ●集会所設置条例の一部を改正する条例

**問** 教育委員会所管の6施設を総務課に移す理由は。

**答** 今回の移す施設は自治会で使用する集会所施設であることから総務課所管とし

今後は集会所のあり方について検討します。

## ●追分自治会館の指定管理者の指定について

**問** 指定管理料の算定項目は。

**答** 積算根拠は電気、水道、下水道、消防設備点検料等で今後適正な運営に努めます。

## ●一般会計補正予算(第5号)

**問** 地方債補正道路新設事業債850万円について。

**答** 庁舎関連道路の調査設計等委託料で県道から庁舎建設地前の追分下出戸線の三角地内です。



追分西西集会所建設用地

**問** 追分西西集会所建設工事請負費4,567万7千円の財源は。

**答** 社会福祉施設整備事業債4,170万円です。

**問** 児童生徒派遣費補助金150万円の増額補正の理由は。

**答** 各中学校の生徒たちが良く頑張りを、東北・全国レベルの大会に出場、又団体種目による出場が多かったためです。

## ●平成24年度一般会計歳入歳出決算の認定

**問** 歳入で自主財源確保の目標と年次計画をたてるべきではないか。

**答** 自主財源は市が独自に収入出来る市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入などです。目標の設定について今後検討します。

**問** 震災のガレキ処理に対し復興特別交付税が交付されたがその後の経過について。

**答** 震災復興特別交付税2億13万3千円のうちクリーンセンター基幹改良整備事業分として2億10万8千円が交付されたが精算額は1億4,300万円です。差額の約5,700万円は今後返還することになります。

**問** 市税の不納欠損分について新規滞納者を出さないための対策は。

**答** 不納欠損額は1,473万8千円で翌年に繰越される収入未済額は3億4,956万8千円です。県の滞納整理機構に大口滞納者の状況を提供し、不納と判断したものについて財産調査し協議のもと進めて行きます。

**問** 学校の耐震工事等で教育費の予算が大きい。今後の計画は。

**答** 今年度は天王中の耐震と大規模改修、来年度は追分小、そのあと羽城中、天王南中、飯田川小、大豊小の大規模改修工事を行う計画です。教育費はしばらく横バイが続きます。



# 社会厚生

市はどう答えたか

委員長 小林 悟  
副委員長 中川 光博  
委員 大谷 貞廣  
委員 伊藤 栄悦  
委員 西村 武  
委員 千田 正英

## ●一般会計補正予算 (第5号)

**問** クリーンセンター改良工事業に係る循環型社会形成推進交付金が減額されたが、その内容は。

**答** 要望額の64%、1億7,860万2千円の内示額で交付金の減額は今回が初めてのケースです。全国的に廃棄物処理施設整備の需要が増えたことと復興予算への振り分けにより市町村の要望が、国の予算を上回ったことによるものです。



クリーンセンター

**問** ビン分別のためのストックヤードの整備設計の内容とビン分別の目的は。

**答** 工事内容は、鉄骨造で床面積200㎡です。容器包装リサイクル法に基づき実施するもので、循環型社会の推進と最終処分場の延命が目的です。

**問** ミニ特養29床の建設に關してですが、入所待機者の実態と今後の見通しは。

**答** 入所待機者は現在72名です。今回の施設は地域密着型特養ですので潟上市民しか入所できません。今後、県指定の広域型特別養護老人ホーム30床の増床を計画していますので、待機者はかなり解消されると思えます。

## ●平成24年度一般会計 歳入歳出決算の認定

**問** 農業用水路の水質検査と土壌調査の内容および放射能検査については。

**答** 水質検査場所は、農業用ため池3か所、鞍掛沼、長沼、高野堤で農業用水路は3か所、塩口水路、中干潟承水路、天塩承水路となつています。水質基準については水路が調査項目9項目、ため池については37項目調査しています。農作物に被害を与える数値は出ておりません。

土壌調査場所は4か所で飯田川庁舎、長沼球場、天王グリーンランド、天王湖岸球場でカドミウム、全シアン、鉛など有害物質10項目を調査していますがすべて不検出です。

また土壌の放射能物質も4か所追分保育園、旧豊川小学校、天王グリーンランド、クリーンセンターを調査していますが、調査項目のセシウム134、セシウム137は検出されていません。

**問** 津波避難場所の指定箇所が10か所では少ないのではないか。

**答** 天王中学校の耐震化工事を進めており完成すると津波避難場所の指定が可能となります。今後民間施設についても避難場所の指定を進めるほか、津波避難タワーの設置についても検討していきます。

**問** 生活保護受給者向け就業支援事業の活動実態は。

**答** 対象者25名のうち16名が就労し、保護費の減額につながっています。保護開始世帯は、横ばい傾向で、保護廃止世帯が増加している状況です。

**問** プラザの湯の収支状況と今後の見通しは。

**答** 収入は641万円、委託料は1,392万円で751万円の赤字です。施設の老朽化の問題などもあり、収支のバランスの取れていない状況ですので今後の方向付けを検討していきます。

# 産業建設

市はどう答えたか

- 委員長 藤原 典男
- 副委員長 鈴木 斌次郎
- 委員 澤井 昭二郎
- 委員 菅原 久和
- 委員 岡田 曙
- 委員 佐藤 昇

## ●平成24年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分(案)

**問** 2億円を積み立てると建設改良積立金の総額はいくらになるか。

**答** 前年度末と同額の2億516万3,524円です。

## ●平成25年度一般会計補正予算(第5号)

**問** 枝豆日本一産地条件事業費補助金について枝豆の主な生産地区、面積、価格の動向について。

**答** 生産面積は24・5haで飯田川地区が約13ha、昭和地区が約11haです。価格は

平年が500円/kgで今年600円、650円/kgで推移しています。生産量は今年300kg/10aです。

**問** 調査設計等委託料の追分下戸線の内容は。

**答** 加賀谷農園付近から県道秋田天王線へ接続する路線の詳細設計で交差点の混雑解消を目的としたもので、道路網計画に沿ったも

のではありません。道路網計画は只今、五洋電子側の路線も含め検討しております。

**問** 新庁舎周りの利便性の向上が目的か。

**答** そのとおりです。県道側への乗り入れ部の幅員は片側歩道の12mです。

## ●平成24年度一般会計歳入歳出決算の認定

**問** 強風災害復旧事業費の内訳は何か。

**答** 昨年4月の強風により、海から水路へゴミが流入し堆積した被害復旧に対する補助金で補助率は65%で675万6,750円で工事を行っております。

**問** 中小企業振興融資預託金の融資実績、融資利率は。

**答** 融資実績は20件で融資額は7,940万円、融資利率は2・45%以内です。

**問** 農業生産力向上事業費補助金の事業内容は。

**答** 申請件数は、ビニールハウスが9棟、管理機が10台、ネギ専用機が32台、水耕栽培機3台、その他機械が6台となっております。

**問** 秋田デステイネーションキャンペーン協議会負担金85万6千円の積算基礎は。

**答** 基本負担金21万円、人口規模分47万8千円、財政規模分64万7千円、観光客実績分99万9千円で、合計2,334万円を3年間に振り分けております。

## ●平成24年度水道事業会計決算の認定

**問** 水道老朽管の布設替えの計画は。

**答** 現在進めている大崎地区が平成26年度で終了し、その後江川地区があります。水道加入率80%以上ないと工事を行わない方針ですが、実施すると3年はかかります。その後追分地区の老朽管の布設替えの計画です。



新庁舎周りの道路計画地



# 常任委員会行政視察研修報告

## 総務文教常任委員会（7月10～12日）

### 佐賀県白石町

#### ◎新庁舎建設について

新庁舎建設検討委員会を設置し、合併協議会で確認された「新町の事務所の位置について」①まちづくりの拠点としての可能性②財政的視点③既存公共施設の有効活用④駅、国道、県道等公共交通体系の利便性⑤敷地造成にあたり盛土による地盤沈下の有無などの視点から国道沿いの数箇所を比較検討を行っております。既存庁舎の利活用については、老朽化が著しいことから解体し分譲住宅地と町営住宅地にして、築27年の旧本庁舎は社会福祉協議会が指定管理者となって子育て支援やデイサービス等の福祉事業に活用されています。

### 福岡県大野城市

◎ワンストップサービスについて（組織機構の現状、ワンストップとして窓口一本化の範囲は、事務処理のフロー等について）

市民を長時間待たせるなどの弊害が生じておりました。市ではこうした課題を払拭し市民満足度の向上を図るため、平日に市役所に来られない人のために、週末窓口サービスを開始し、平成19年には問い合わせや資料請求などを電話やインターネットで済ませたい人には、毎日午前8時から午後9時まで、年間休みなしのコールセンターを開設するなど日本一利便性の高い窓口サービスの提供を目指しています。

### 福岡県春日市

#### ◎教育委員会の活性化について

国の中央教育審議会地方教育本部では市町村教委に対し①事務局提出案を承認するだけでなく、実質的な意思決定を行っていない②地域住民の意向を十分に反映したものとなっておらず、教員や教育関係者の意向に沿って教育行政を行う傾向が強い③国や都道府県の示す方向性に沿うことに集中し、地域の実情に応じて施策を行う姿勢が必ずしも強くない。学校、家庭、地域の連携による子供の育成に努めています。

## 社会厚生常任委員会（7月17～19日）

### 北海道当別町

#### ◎ふれあいバスについて

当別町は町内を総合的にカバーする路線バスの運行がなくその解消を目的に、これまでバラバラに運行されていたバスを官民一体となって一元化していきこうという斬新なアイデアが出されました。公共交通活性化総合プログラムを活用した運行改善策の調査、利用促進の検討、実施に取り組み、平成23年度より本格運行を開始し、現在は4路線・7系統・74便をバス4台で運行しています。

### 北海道石狩市

#### ◎ボランティアポイント事業について

この事業は「地域力の向上による、共に支えあうまちづくり」に向け、ポイント付与を通じてボランティア活動活性化のために実施されています。

登録↓活動の申し込み↓活動↓ハイスタンプに交換するというものです。活動人数は対前年比68・2%の延べ4,008人となっています。

### 北海道小樽市

#### ◎成年後見事業について

認知症や知的障がいなどにより、判断能力が不十分で、なおかつ資産がない方、少ない方を対象に事業が実施されています。大都市と違い専門職の確保が難しく、広域市町村での取り組みが必要であるとして、6市町村で実施し、首長申立事務の代行や法定後見を受任し、親族申し立ての援助を含む、成年後見全般の相談窓口の役割を担っています。



## 産業建設常任委員会（7月17～19日）

### 静岡県富士市

#### ◎都市計画マスタープランについて

富士市のまちづくりの視点は①富士山とまちの調和②やま・まち・海を一緒に考える③時代の展望を踏まえる④まちの資源を有効に使う⑤市民が手を取り合い事業者と一体となり地域を考え行動する事を基本にしており自然の保全や都市活動など各エリアごとのテーマを決め都市計画案の作成には市民が無償でボランティア参加していただきました。

### 静岡県焼津市

#### ◎防災対策について

津波避難タワー20基の建設予定、鉄筋コンクリート3階建て以上の民間建物の避難場所212箇所（2箇所）の協力も取り付けた事、38自治会の津波避難訓練の様子を研修しました。国に堤防の嵩上げと補強の要望をしておりました。

### 静岡県藤枝市

◎農工商連携・6次産業化推進ネットワークについて

市が生産・加工・販売までを各業者呼びかけて商品ごとの専門的グループ作りの中心的役割を果たしていました。農家は専門に農業生産物を作り、加工業者、販売業者が一体となって知恵を出し合い特産品として年間3品を目標として取り組んでいるネットワークづくりがあります。

### 静岡県函南町

#### ◎庁舎建設関連について

旧庁舎建設から30年以上経過し雨漏りもひどく地盤も軟弱なため別に土地を購入し自主財源のみで庁舎を建設するために12年間建設基金を積み立て、工期も3年間にして一般財源を充てるようにして庁舎建設を行った事を研修しました。年間5億円の積み立ては厳しかったと言われておりました。

# 議会報告会

(5月24日・25日開催)

各会場で寄せられました市民の意見・  
提言などについて市当局より回答がありました。

## 防災無線について

**声** 放送内容が多岐にわたるので、防災関連中心に選別も必要だ。防災に限らずいろいろな放送されているが、いざというときそれでは聞かないのでは。

**答** 防災行政無線としての役割として市民の方々に情報提供を実施しておりますが、災害情報及び緊急放送時はサイレンの吹鳴を入れるなど一般放送とは差別化を図り情報が的確に伝達されるよう工夫します。

## 防災対策について

**声** 災害時、田屋集落から元木山へ行く避難通路2か所を整備してほしい。

**答** 田屋集落においては地震災害及び風水害等の災害時は山間部への避難ではなく集落に隣接する羽城中学校への避難をお願いします。今後避難経路等地域と協議します。

## マイタウンバスについて

**声** マイタウンバスの乗車率、バスの小型化について検討されているか。(天王地区)

**答** 天王地区を運行するマイタウンバスは中型バス(58人乗り)で運行しており、車両については、平成15年度に購入したものであります。利用者は年々減少傾向にあり、平成24年度は12,864人で約33パーセントの減となっております。

バス運行に係る経費を考えますと、約7割が人件費となっているため、車両の大きさによる経費の増減は、思ったほど大きくないのが実情であります。

しかしながら現在では環境・燃費性能に優れた小型バス車両もありません。市所有の中型バスは購入後10年となり老朽化してきましたが、まだ利用可能な状況です。バス車両の更新の際には小型バスへの移行も検討しておりますのでご理解をお願いします。

**声** マイタウンバスに小型9人乗りのクラスの車両の活用を視野に入れるなど、先を見据えた路線対策が必要だ。新庁舎への3方からの動線も必要だ。(出戸地区)

**答** 市では、現在、市内全域的な公共交通の見直し作業を進めており、交通空白地域・不便地域の解消や新庁舎を起点とした新たな運行形態を検討しております。また現在運行しているマイタウンバスにおいては乗降調査を行い、利用状況を鑑みながら運行形態の見直し、車両については環境・燃費性能に優れた小型バス車両もあることから、小型バスへの移行も考慮しながら検討しております。

## 道路関係について

**声** 大崎地域から庁舎建設地への道路のアクセスが悪い。改善してほしい。

**答** 潟上市幹線道路網計画(案)では、大崎地区からは農免道路を通り工業団地に抜け、国道101号線に至る道路を計画しています。整備に

は長い年月が掛かることから計画的に整備していきます。

**声** 側溝泥上げに若い人の参加が少なく年配者だけでは立ちゆかない。道路は市の管轄だと思うが市で泥上げをしてもらえないか。

**答** 本市では、市民の皆さまとの協働で、生活環境の清潔保持と水害発生を抑えるために、自治会・町内会の皆さまに側溝清掃をお願いしています。

ご指摘のとおり、側溝の蓋上げは大変な重労働であり、市としてもできるだけの支援をさせていただきたいと考えており、簡単にコンクリートの蓋を上げることができる蓋上げ機の貸し出しや土砂等を入れるエコ土嚢の支給、集積された土嚢の回収などを実施しています。地域の快適な生活環境を維持するには、市民の皆さまのご協力が欠かせないと考えています。今後も、地域環境の保全・環境美化の推進に努めてまいりますので、引き続き、ご協力をお願いいたします。



**声** 通学路の安全対策について、特に朝の出戸新町踏切の混雑は危険な状態だ。片側歩道でも設置できないものか。

**答** 踏切については、踏切に歩道を設置することは早急な対応が難しいことから、JＲに対し踏切手前の敷地（2か所）に児童生徒が一時的に退避できるスペースを確保するための協議をしてみたい。



出戸新町踏切

## その他

**声** 集団検診案内の住所に誤りがある。（二田地区）

**答** 封筒住所は、住民基本台帳と連動しているため間違いはないです。

が、行政区コード（町内会コード）の間違いにより、他町内に紛れ込んでしまうのが原因と考えられます。二田2区は今年29軒分が行政区違いで戻ってきました。このようなことが起こらないよう前年度の戻り分は必ずチェックをするなど、対策を講じているものの、結果として毎年発生しているため、保健会を行う検診説明会では、その辺の事情もお話しをし協力をいただいているところで

す。来年度以降の対策として、  
① 今年度各町内から行政区違いで戻ってきた分（全体で135軒）は、市民課戸籍担当から確実に訂正してもらいます。  
② 来年の検診前に、行政区違いが多くみられた保健会から、町内名簿を提出して頂けるよう協力の依頼をします。

**声** 空き家対策はどうなっているのか。安全面から撤去が必要な家屋もあるが。

**答** 空き家対策は現地調査を行い自治会等地域と情報を共有しながら、所有者への連絡など対応しますので自治会等を通じての情報提供をお願いします。

**声** 図書館の新刊本は利用率向上のためにも宣伝が必要だ。

**答** 全ての図書館蔵書や新刊本が閲覧できるように、広報かたがみにホ

ムページアドレスを掲載して、どこからでもアクセスし閲覧出来るよう周知徹底に努めています。

**声** 国民文化祭の内容は。

**答** 平成26年度に秋田県で開催される国民文化祭は、平成26年10月4日（土）から11月3日（月・祝）までの1か月間を開催期間としています。

本市では、中村征夫フォトギャラリー「ブルーホール」において、「自然と暮らす・日本の原風景写真コンテスト」を開催します。  
また、平成26年5月25日（日）には、石川理紀之助翁ゆかりの地「山田 草木谷」において撮影会を開催



ブルーホール

し、その作品のフォトコンテストを行います。  
平成26年10月12日（日）に、入賞者の表彰式、選評、記念トークショーを行うこととしております。

**声** 雇用や経済活性化のために潟上発北限のフグカレーを推進したらどうか、これこそ6次産業化だ。

**答** フグカレーについては関連企業等と協議をしてみたい。

農林水産物の6次産業化については本市の政策の一つとしてとらえており、今後十分に研究・検討を重ね、地域の特色を生かした農産物の生産振興、特産物や新サービスの開発、販路拡大などを推進します。

**声** 子宮頸癌ワクチンに副作用があると言っているのか。

**答** 現在、副作用の検証のため、積極的勧奨を差し控えるという措置がとられています。これはワクチンとの因果関係は不明としながらも、「持続的で広範囲に及ぶ疼痛」がワクチン接種後に特異的にみられたことから検証するもので、副作用かどうか明らかになるまで一時的にとられる措置であります。

議会ホームページにも掲載しています。

# 9月定例会各議員の賛否一覧(全会一致を除く)

((○)：賛成、〔×〕：反対、〔-〕：議長

会派名	議案等		発議第1号 議会基本条例 (修正案)	発議第1号 議会基本条例 (原案)	発議第2号 政治倫理条例 (修正案)	発議第2号 政治倫理条例 (原案)
	氏名					
政友平成会	会長	大谷 貞 廣	×	○	×	○
		児玉 春 雄	○	×	○	×
		佐藤 昇	×	○	×	○
		澤井 昭二郎	○	×	○	×
		藤原 幸 作	×	○	×	○
政和会	会長	堀井 克 見	×	○	×	○
	幹事長	岡田 曙	×	○	×	○
		西村 武	○	×	○	×
潟上21改革 クラブ	代表	鈴木 斌次郎	×	○	×	○
	幹事長	小林 悟	×	○	×	○
		佐々木 嘉 一	-	-	-	-
潟上21振興 クラブ	代表	戸田 俊 樹	×	○	×	○
		菅原 久 和	×	○	×	○
		中川 光 博	×	○	×	○
会派に属さない	日本共産党	藤原 典 男	○	×	○	×
	公明党	菅原 理恵子	×	×	×	○
	真政市民クラブ	伊藤 栄 悦	×	○	×	○
	新星会	藤原 幸 雄	○	×	○	×
	議長	千田 正 英	欠席	欠席	欠席	欠席
結 果			否 決	可 決	否 決	可 決

## 編集後記

気象史上稀に見る猛暑が日本列島を襲い、熱中症で不幸にも亡くなる方が全国的に多くありました。また、地域によってはゲリラ豪雨による土砂災害、川の氾濫や洪水、竜巻などで住宅が流失、破壊したり、命をなくす等々の事故が頻発しています。気象上何か大きな変化が生じているのではと危惧されております。

2020年の東京オリンピック開催が決定しました。今後は国民一丸となって大会成功に向けての協力が重要かと思えます。

さて、新庁舎建設関連経費を先の臨時会に於いて可決。9月定例会に於いて、「特定建設工事共同企業体」が落札。いよいよ新庁舎建設が本格的にスタートしました。

また、潟上市議会基本条例・潟上市議会議員政治倫理条例が可決され、ますます議員の資質が問われることとなります。

八郎潟ハイツの破産申請により長い歴史に幕を閉じました。今後は新たな運営会社を募集する方針です。新生八郎潟ハイツを期待したいと思います。

(鈴木斌次郎記)